

## ◆ 朗読チームの活動を振り返って ◆

### ◇ 一年間を振り返って ◇

報告 コミュニケーション学科4年 高橋里奈

今年度は朗読チームの一員として活動する最後の年でした。恒例の大学祭や神奈川近代文学館での朗読会に加え、サマースクールプログラムや緑園東小学校で朗読する機会をいただき、勉強になることばかりでした。特に、緑園東小学校での朗読会は授業の関係などでなかなか参加することが出来ず、最後の最後で参加することが出来ました。OGグループである「すずの音」の皆さんによる朗読や、小学生の子たちの朗読に刺激をもらい、素敵な経験をさせていただいたと思っています。



大学祭

自分の中のひっそりとした今年度の目標として「聞いてくださるお客様のほうを見る」というものがありました。これまで、練習でやってきたとおりに読むことでいっぱいいっぱいになっていることが多く、客席のほうにまで気を向けることが出来ないうままでした。また、極度の緊張しいのため客席のほうを向けば確実に頭が真っ白になって読む場所がわからなくなってしまうだろうという恐怖感もありました。台本に目を落とすことで、その恐怖から逃げていたのだろうと今になってみると思います。それが和らいたのが、サマースクールプログラムの一環として「緑のスキップ」を読ませていただいたときでした。そこで、客席へ視線を投げることで、聞いている人の雰囲気を感じたり語りかけている気持ちが強くなった気がしたのです。それからは自分としてはわりとお客様のほうへ視線を向けることが出来たように思います。その甲斐あってか、今年度の神奈川近代文学館での朗読会では、本番後にお客様から声をかけていただいたりもしました。



神奈川近代文学館での朗読会

思えば、同学年の仲間もいないまま、4年間よくやり通したものだ自分でも驚いています。それもひとえに「朗読が好きだ」という気持ちがあったからこそここまでやってこられたのだろうと思います。その気持ちを大切に、卒業してもこれからも朗読を続けていきたいです。4年間御指導下さった鈴木千秋先生、さまざまなサポートをして下さった図書館の皆様、切磋琢磨朗読の技術を磨いてきた朗読チームの仲間たちへ、感謝の気持ちを伝えても伝えきれないです。本当に、今までどうもありがとうございました。

## ◇ 朗読チームの一年間の振り返り ◇

報告 日本文学科 3年 坂本紫緒里



サマースクールプログラム

一年間を振り返ると、個人的には新しいことにたくさん挑戦できた年でした。大きなイベントとしては、秋の「大学祭での発表」と2月の「文学館での発表」がありましたが、今年は夏休みに「サマースクールプログラム内での発表」、冬に「緑園東小学校での発表と生徒さんとの触れ合い」をしました。

夏休みの期間内に携わらせていただいた「サマースクールプログラム」では、福島県からサマースクールプログラムのキャン

プ(宿泊体験)に来ている子供達を対象に、朗読の発表をさせていただきました。大学のエコキャンパス委員会の学生の皆さんを中心に、フェリスと「エコ」に関するプロジェクトを考えてくださった一環の内での発表で、とても良い経験になりました。今回はテーマが「エコ」ということで、朗読の作品を選考するところから色々考えて発表に至りました。今回朗読した作品は、安房直子さんの「緑のスキップ」です。一見すると森の中のかわいい動物たちのお話ですが、春夏秋冬の自然の原理や、美しい自然の大切さを考えさせられます。活動への参加ははじめてで、このようにテーマのある中で子供達を対象に朗読をしたのははじめてだったので、良い経験になりました。

冬の「緑園東小学校での発表」も、例年同様、生徒さんと有意義な時間を過ごすことができました。私は今回が初めての参加だったのですが、緑園東小学校からお招きいただきよい経験ができました。小学校の体育館で発表をさせていただいたのですが、たくさんの方の生徒さんを前に発表するのは、私たちもはじめてだったので、緊張しました。しかし、低学年の生徒さんも真剣に朗読を聞いてくださり、生徒さんたちの生の反応を見られて良かったです。朗読会終了後には高学年の図書委員会の生徒さんたちとの触れ合いがあり、本や日頃の活動についてお話ができました。

毎年イベントとして、「大学祭での発表」と2月の「文学館での発表」も昨年度に劣らない会となりました。今年は、活動メンバーこそ少なかったものの、活動の内容は濃く、主に子供達や地域住民の方々との触れ合いの中で、本や朗読の本質を考えることができ充実した年となりました。



緑園東小学校での朗読